

## 乳がん県民公開セミナー講演集発行にあたって



がんの患者さんが増えています。日本では2人に1人ががんに罹り、3人に1人ががんで亡くなる時代となっています。しかし、これはがんにかかりやすい高齢者が多くなってきたためであって、昔の年齢構成に当てはめれば、各年代ともがん死亡率は確実に下がってきています。この年齢調整死亡率の減少は、がんの予防や早期発見とともに手術、化学療法（抗がん剤）、放射線照射などの治療法の進歩によるところが大きいと言えます。

茨城県では、がん診療を積極的に行っている病院が集まって茨城県がん診療連携協議会を組織し、県内のがん診療の向上、普及を図っています。その活動の一環として毎年がんに関する県民公開セミナーを開催してまいりました。臓器別ではこれまで胃がんと肺がんを取り上げ、今年は乳がんをテーマといたしました。

乳がんは女性特有のがんです。男性乳がんもないわけではありませんが、ごくまれです。乳がんは身体の表面にある乳腺に発生しますので、胃や肺などの内臓のがんと異なり、理屈の上は比較的早いうちに見つけることができます。自分で見つけることも可能です。また、手術法、化学療法、放射線照射のいずれにも格段の進歩が見られ、たとえ転移があったとしても長期生存される方が驚くほど多くなりました。一方では、乳がんの絶対数の増加は著しく、なによりも若い女性に多いためにさまざまな問題に直面します。

こうした最近の進歩や乳がんを巡る様々な問題点を県民の皆様にお示し、一緒に考えたいと願って乳がん県民公開セミナーを開催するに至りました。

今回のセミナーを開催するにあたりましては、水戸地区で長年にわたり市民対象の乳がんセミナーを続けておられる国立病院機構水戸医療センター副院長の植木浜一先生と、つくば地区で乳がん診療に積極的に取り組んでおられる筑波メディカルセンター プレストセンター長の植野 映先生に企画をお願いいたしました。当日は水戸会場、つくば会場ともに多くの方々のご参加を頂き、実り多いセミナーとなりました。

植木先生、植野先生、さらに御講演をいただきました各先生方にはあらためて御礼申し上げたいと存じます。また、会場にお越しいただき貴重なご質問やご意見を頂戴しました参加者の皆様にも深く感謝申し上げます。

当日の内容を記録したものがこの講演集です。ご参加された方々にはあらためて知識の整理にお役に立てればと願っております。ご都合により出席できなかった方は、本書を読んでいただき乳がんについての基本知識を習得していただければ幸いです。

平成24年3月

茨城県がん診療連携協議会会長

茨城県立中央病院 病院長 永井 秀雄

# 目 次

## 【水戸会場】

プログラム	1
講演1 『乳癌の検診をうけましょう！』	2
講演2 『乳癌の広がりに合わせて手術療法』	10
講演3 『乳癌の病型分類』	16
講演4 『ホルモン療法』	20
講演5 『非ホルモン療法』	27
質疑応答	32

## 【つくば会場】

プログラム	39
講演1 『乳がんの検診を受けましょう！』	40
講演2 『乳がんの広がりによる術式の違い』	49
講演3 『乳がんの性格にあわせた初期の薬物療法』	54
講演4 『乳がんの再発とその対策』	61
講演5 『乳房の再建について』	69
質疑応答	75

## 【参考資料】

つくば会場アンケート結果	88
水戸会場, つくば会場配布チラシ	90